

# 重点課題別評価

## I-1 男女の固定的性別役割分担意識の解消

内閣府男女共同参画局が行っている世論調査（令和元年 9 月調査）によると、「夫は仕事、妻は家庭」という固定的性別役割分担意識に対し、「反対」が 6 割と多数を占めるようになった。しかしながら、家事や育児、介護等の家庭内労働の多くを担っているのは女性であるという偏りは、未だに大きく変わってはいない。表面的な意識改革は進んでいるのかもしれないが、「固定的性別役割分担意識」とは何か、そこにはどのような問題があるのかなどに関しての理解が、まだまだ十分ではないのではないかと懸念がある。どうしたら市民の認識がより深まるようになるのかという観点から、引き続き取組みを進めていただきたい。

### (1) 男女平等参画推進のための意識啓発と情報提供

情報誌「パリテ」は読みやすく、分かりやすく情報を伝える編集がなされている。また、その他の情報提供に関しても様々な工夫が重ねられている。情報の受け手側である市民の認知度が一層高まるよう努められたい。特に若い世代への情報提供の手段として SNS をどう活用していくのか、更なる検討を期待する。

「パリテまつり」では多種多様な講座や体験会が開かれ、多くの市民の参加があったことは喜ばしい。今後も、特に男女平等参画に関するイベント等に、日頃参加する機会のない層の参加が増えるような工夫に努められたい。

### (2) 男女平等に関する学習機会の提供

様々なテーマの講座が企画・開催され、多くの参加を促す工夫がなされていることを評価する。父親や育児期の女性なども参加できるイベントや講座の開催を引き続き期待するとともに、もっと多くの（父親以外も含めて）男性の参加を促す講座やワークショップ等の学習機会の開催を期待する。

男女平等に関する資料の提供や図書貸し出しに関して、ICT 活用を進める等、市民のより一層の利用を促す工夫に努められたい。

### (3) メディア・リテラシーの普及・啓発の推進

急速に広がる SNS を利用したハラスメントなどが頻発している現在、ジェンダー視点のメディア・リテラシーへの理解を進めることは喫緊の課題であると考えられる。市民がメディア・リテラシーについて学ぶ機会が増えることが望ましい。また、男女平等のためのガイドラインの一層の充実及び活用を期待する。

委員会評価	施策 (1)	施策 (2)	施策 (3)	重点課題評価
R 1 年度	B	A	A	(A)
R 2 年度				
R 3 年度				
R 4 年度				
R 5 年度				